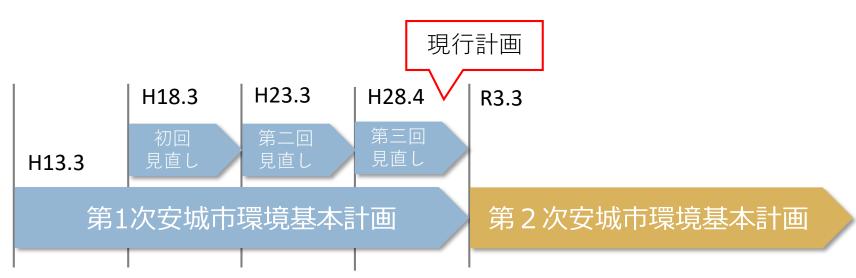
第2次安城市環境基本計画の策定について

1. 環境基本計画とは

安城市環境基本条例に基づき、環境の保全と創造に関する施策を定めるものです。

第1次計画(平成13年3月策定)は、令和2年度を目標年次(計画期間:20年)とした長期計画で、5年ごとに定期的な見直しを行ってきました。現行計画は平成28年4月に策定し、**令和2年度に目標年次を迎えます**。

環境報告書において毎年度実績を報告・公表しています。

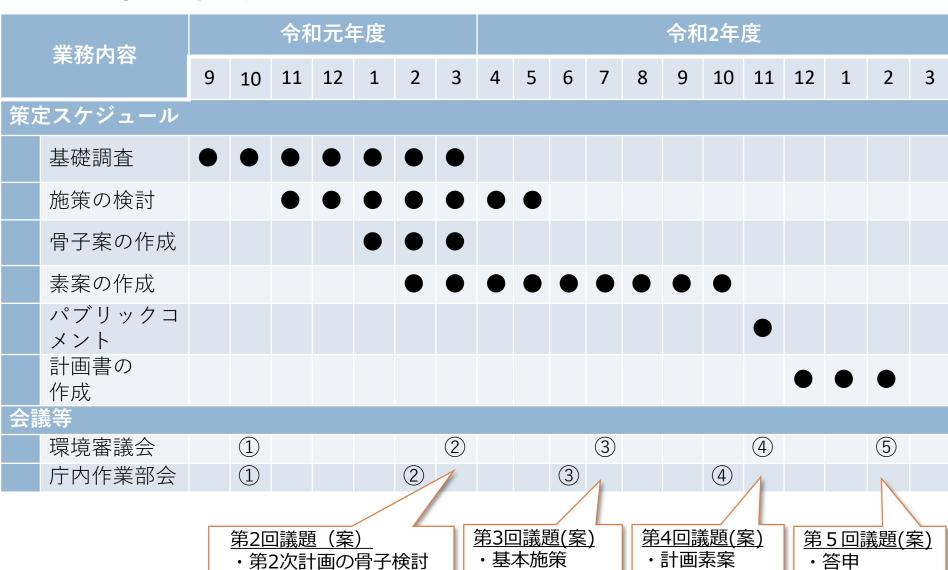


2. 策定体制とスケジュール

市民・事業者 (アンケート調査、パブリックコメント) 意見 説 庁内 諮問 環境審議会 市 答申 意 説 見 意見 策定作業部会 (課長、補佐係長会議)

2. 策定体制とスケジュール

(将来像、体系等)



・推進方策

3. 現行計画への追加要素

第1次安城市環境基本計画の策定(平成12年度)から19年経過 最終見直しから4年経過

上位計画の動向

第5次環境基本計画(平成30年4月)

- ・SDG s の考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化
- ・地域資源を持続可能な形で活用

地球温暖化対策計画(平成28年5月)

・日本の目標は2030年度において、2013年度比 26.0%減を達成するための計画

気候変動の影響への適応計画(平成27年11月)

・すでに現れている影響や避けられない影響に対す る適応

あいち生物多様性戦略2020(平成25年3月)

・県内全市町村で生物多様性地域戦略策定を目標

社会情勢の変化

第5次エネルギー基本計画(平成30年7月)

・長期的に安定した持続的・自立的なエネルギー供給

パリ協定(平成27年採択)

- ・世界共通の長期目標 +2℃以下で保持
- ・日本の目標は2030年度において、2013年度 比26.0%減

海洋プラスチックごみ対策アクションプラン (令和元年5月)

食品ロスの削減の推進に関する法律の策定(令和元年5月)

来年度(令和2年度)に現行計画の目標年次を迎える

第2次環境基本計画への反映

4. 計画の考え方

(1)上位計画との整合(第5次環境基本計画:国)

<目指すべき社会の姿>

- 1.「地域循環共生圏」の創造。
- 2.**「世界の範となる日本」**の確立。
- ※ ① **公害を克服**した歴史
 - ② 優れた環境技術
 - ③「もったいない」など**循** 環の精神や自然と**共生**する伝 統を有する我が国だからこそ できることがある。
- 3.これらを通じた、持続可能な循環共生型の社会(<u>「環境・生</u>命文明社会」)の実現。

<本計画のアプローチ>

1.SDGsの考え方も活用し、<u>環境・経済・社会の統合的</u> **向上を具体化**。

環境政策を契機に、あらゆる観点から**イノベーションを 創出**

- →経済、地域、国際などに関する**諸課題の同時解決**を図 る。
- →将来にわたって質の高い生活をもたらす「新たな成長」につなげていく。
- 2.**地域資源を持続可能な形で最大限活用**し、経済・社会活動をも向上。

地方部の維持・発展にもフォーカス → 環境で地方を元気に!

3.より幅広い**関係者と連携**。 幅広い関係者との**パートナーシップを充実・強化**

4. 計画の考え方

(2) SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの、17の国 際目標。



世界を変えるための17の目標







皇 産業と技術革新の 基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう











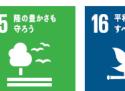




14 海の豊かさを 守ろう













【特徴】

・誰一人取り残さない

・すべての国が行動する

- ・すべての人が役割を持つ
- ・統合的に取り組む
- ・定期的にフォローアップ

【日本での取り組み】

・地方創生、強靭かつ環境に 優しい魅力的なまちづくり

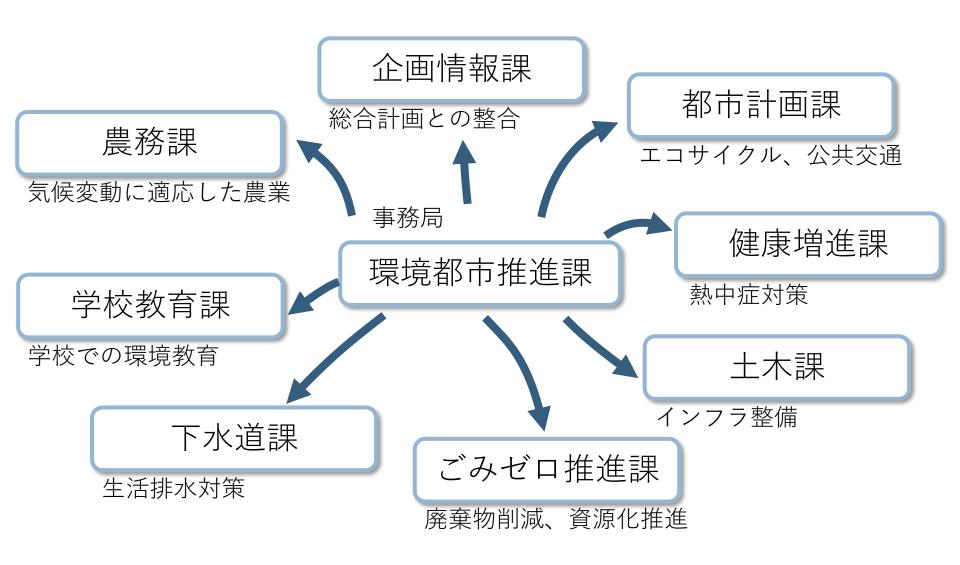
・次世代・女性のエンパワメ ント







5. 他部署との関わり



6. アンケート調査概要 (1)対象と趣旨

調査概要		
手 法		郵送
スケジュール		発送 12/4、回収期限 12/25
対象	市民	18歳以上~75歳未満 1,600人 / 約120,000人
	事業者	400事業所 / 約4,000事業所

【アンケートの趣旨】

- ■環境に影響のある行動の実態把握を目的とする。 (市民の設問内容)
 - 1. 日常生活について (電気や燃料の節約、近隣への配慮、買い物とごみ、自然との関わり)
 - 2. 再生可能エネルギー・省エネルギー設備について

など

6. アンケート調査概要(2)調査内容

- ■環境に対する行動の実施状況は、5段階で回答する。いつもやっている/時々やっている/これからやってみる/今後もやるつもりはない/あてはまらない・わからない
 - ▶ 省エネルギー型の家電製品を優先して購入している。
 - ▶ テレビを見ていないときは消している
 - ▶ 台所の排水口にネットを付けている
 - ▶ ポイ捨てをしない
 - ▶ 食べ残しをしない
 - ▶ ごみ分別に心掛けている